



小中島のカミナリ (スサノオ神社)

昔、小中島にあるスサノオ神社の境内に井戸がありました。ある日、急に天気は崩れて雷雨となり、カミナリが井戸の中に落ちました。その音があまりに騒々しかったので、氏神様が腹を立て井戸に蓋をして閉じ込めました。最初は怒っていたカミナリも、閉じ込められているうちに堪えきれず「迷惑をかけるので許してください」と謝りました。氏神は、今後小中島に二度と落ちないことを条件に井戸から出してあげました。それ以来、小中島にはカミナリが落ちなくなったそうです。

上記は新幹線開通時に社を移転する前まで存在していた、小中島のスサノオ神社にあった井戸にまつわる伝承です。日本で多い神社は稲荷社や八幡社などですが、尼崎市内にある全神社66社の中で最も多いのがスサノオ神社で、25社存在し約3分の1を占めています。素戔鳴、須佐男という漢字の違いはありますが、どちらもスサノオノミコトを主祭神としています。元は京都八幡社の牛頭天王という勇ましい神を疫病や水害を防ぐため祭ったのが始まりで、当初は尼崎の各社も牛頭天王社でした。しかし、スサノオノミコトが大蛇ヤマタノオロチを退治した事を、荒れ狂う川等の氾濫に見立て治水の神としてスサノオ神社になりました。尼崎は水害が多かったことから地域の無事の願いをこめて、多く祭られていたと考えられます。参考:『あなたは園田を知っていますか』園田コミュニティ・カレッジ/編集発行・『南部再生 Vol.58』尼崎南部再生研究室/編集発行

◆ カミナリについて

依屋宗達(よゑむね)の風神雷神図屏風に見られるように昔の人は雷がゴロゴロとなる時、雷神様が太鼓を雲の上で鳴らしていると考えていました。実際、雷は電気の放電現象で、夏場など暑い時期に地表が暖められ水蒸気が急上昇する事などで起こります。この水蒸気が上空で急激に冷却され、ヒョウやアラレなど氷の粒となります。この時できる雲が入道雲(積乱雲)という雷雲です。短時間で気温が摂氏一万度以上にもなる空気は瞬間的に膨張した後、急速に冷やされ収縮します。これにより空気が震え、ゴロゴロという雷の音になります。その後、空気が絶縁体となり、行き場を求めて枝分かれを起こした電気はギザギザとした形に見えるのです。日本のほとんどの地域は夏に雷が発生しますが、日本海側や北陸地方では冬に多くなります。地上にある暖気と、シベリアなどからの季節風による上空の寒気により発生しやすくなるためです。

(参考:『雑学大全』東京雑学研究会/編 東京書籍)

● 「カミナリ」についてならこんな本●

- 『雷の本』乾昭文/著 電気書院 212113244
- 『雷をひもとけば』新藤孝敏/著 電気学会 212144006
- 『雷のひみつ』学習研究社/編集発行 310478999

<図書館の休館日> 印の日はお休みです

6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
⑥	7	8	9	10	11	12
⑬	14	15	16	17	18	19
⑳	21	22	23	24	25	26
㉗	28	29	30			

7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
④	5	6	7	8	9	10
⑪	12	13	14	15	16	17
⑱	19	20	21	㉒	㉓	24
㉑	26	27	28	29	30	31



6月:水無月(みなづき)

食べ物:トマト、インゲン、エダマメ、キウイ、ピワ、サクランボ、アジ、アナゴ
 植物:アジサイ、ユリ、カーネーション、キキョウ、ナデシコ、ゲッカビジン
 季語:田植、早乙女、父の日、紫陽花、花橘、蛭、海亀、木耳

開館時間 午前9時~午後8時(日曜・休日(○)は、午後5時15分まで)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言発令中は、北図書館で実施する全ての行事を中止いたします。ご了承ください。

本の修理工房

図書館の本の修理とブックコーティングの体験ができます。

- 【日時】 6月26日（土）
10:00～12:00
【場所】 3階集会室
【対象】 中学生以上
【定員】 先着10名
【申込】 6月10日（木）から
1階カウンターまたは電話にて受付

〈修理工房出張所〉

破れや汚れ、水濡れにより図書館で使用できなくなった本を展示します。

- 【期間】 5月28日（金）～6月30（水）
【場所】 1階ロビー

いきいき エクササイズ

講師の方に脳を鍛える簡単なエクササイズを紹介していただきます。認知症予防にも！

- 【日時】 7月1日（木）
10:00～12:00
【場所】 3階集会室
【講師】 平田 和美氏
【定員】 先着20名
【申込】 6月10日（木）から
1階カウンターまたは電話にて受付



雨の多い季節です 本が濡れないようお気をつけ下さい

北図書館では雨の日、カウンターにビニール袋を用意しています。お気軽にお使いください。

また、ご来館の途中で突然雨が降る場合もあります。移動の際、雨で本が濡れないようご協力をお願いします。万が一、濡れ・傷みがひどい場合は同じ本での弁償をお願いしています。

※ 借りた本に破損等ありましたら、ご返却の際にスタッフにお知らせください。図書館で修理等させていただきます。

次の方が気持ちよく読めるよう、ご協力をお願いいたします。



〈6月展示のご案内〉

- | | |
|-------|--------------|
| 一般大展示 | 「あっと驚く結末」 |
| 1階展示 | 「男女共同参画週間」 |
| 2階展示 | 「落第忍者乱太郎と尼崎」 |

大人のための朗読会

【日時】 6月16日(水) 午後2時から1時間ほど
【場所】 3階 集会室
【内容】 『鱸(すずき)とおこぜ』 阿川 弘之/著
『かつばの目だま』 さねとう あきら/著

朗読はボランティア「ま・どんな」のみなさんです。

※ 状況により、内容の変更・中止になる可能性があります。

人を読む 保坂和志

1956年～山梨県生まれ。早稲田大学政経学部卒業。『この人の関』で第113回芥川賞、『草の上の朝食』で野間文芸新人賞、『季節の記憶』で平林たい子文学賞と谷崎潤一郎賞、『未明の闘争』で野間文芸賞を受賞。

『読書実録』

保坂 和志[著]/河出書房新社

詩人の対談を読み、本の筆写をはじめた著者。“書き写しをしているとかつて読んだ文が活性化するのだ”筆写することで記憶の中に仕舞い込まれていた文が新しい力を得て、次の文を呼び起こしてゆく。「筆写のはじまり」「スラム篇」のほか全四編の小説。『すばる』掲載分をまとめて単行本化。

『世界を肯定する哲学』

保坂 和志[著]/筑摩書房

“最終的なく世界とく私>の関係はとてもシンプルだ。私が生まれる前から世界はあり、私が死んだ後も世界はあり続ける”12章からなる本書は、著者自身が繰り返し読んで楽しいという9章の「展開部」から読むことが出来る。『世界』に連載されたエッセイを連載時の順序通りで新書化。

『猫の散歩道』

保坂 和志[著]/中央公論新社

幼稚園から大学までを鎌倉で過ごした著者は、東京在住になっても「鎌倉」イコール「自分」だと思っている。その鎌倉で過ごした子供時代や猫との生活、季節のうつろいなどをのびやかに綴る。本書のタイトルは朝日新聞夕刊連載より、『文藝春秋』ほか連載を収録にあたり加筆・修正して単行本化。

『チャーちゃん』

保坂 和志[著]・小沢 さかえ[画]
/福音館書店

保坂和志が一匹の猫を語り手に綴る「死」をめぐる言葉の数々。「死」というテーマとはうらはらに、油彩画で描かれる猫の「チャーちゃん」は明るくて軽やか。子どもたちと共に大人も「死」というものについてどう受け止めたらいいのかを考えさせられる絵本。【小学3～5年生から】

1990年『ブレンソング』でデビュー。愛猫家で、『ハレルヤ』『明け方の猫』などほとんどの作品に猫が登場する。映画監督の長崎俊一とは中学・高校時代の同級生で、大学時代には長崎や矢崎仁司の自主映画に役者として携わる。2006年に矢崎の監督映画「ストロベリーショートケイクス」にも端役で出演。妻は英文学者の清水みち。

児 童 室 6 月

おはなし会



土曜日

おひざのうえのおはなし 午後2:00~
 小さい人(ようちえん) 午後2:15~

場所: 3階集会室

6/5(土)

● おひざのうえ
 「ぼうしかぶって」
 「にゃんきつちゃん」

● 小さい人

「そらいろのたね」
 「ねことねずみ」

6/19(土)

● おひざのうえ
 「にっこりにここにこ」
 「ぴんぼーん」

● 小さい人

「ルラルさんのじてんしゃ」
 「ひなどりとねこ」



水曜日

あかちゃんひろば

(第1・第3水曜日)

場所: 1階絵本コーナー

6/2(水)、6/16(水)

午前11:00~11:20

0歳~2歳くらいのお子さんと
 保護者向け

赤ちゃん絵本、わらべうた、手遊び



日曜日

(第2・第4日曜日)

場所: 1階ロビー

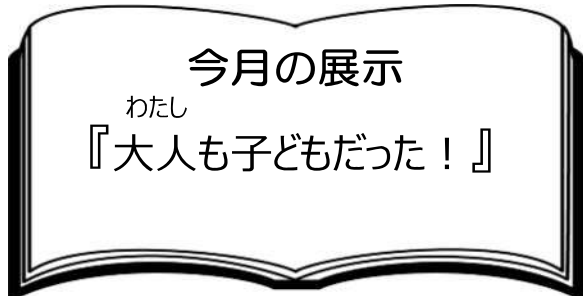
6/13(日)、6/27(日)

午前11:00~11:20

2歳くらいから

季節の絵本や紙芝居など

6



日	月	火	水	木	金	土
		1	2 	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13 	14	15	16 	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27 	28	29	30			